



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー
 コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 若尾 逸雄
 (氏名) 川崎 工三
 TEL 03-3490-1761

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	12,930	5.3	676	51.2	687	53.6	409	111.4
29年12月期第3四半期	12,280	23.7	447	76.2	447	63.3	193	41.4

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 392百万円 (70.6%) 29年12月期第3四半期 229百万円 (128.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	80.19	
29年12月期第3四半期	37.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	9,800	6,069	61.9
29年12月期	9,195	5,805	63.1

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 6,069百万円 29年12月期 5,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		25.00	25.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	5.0	800	34.1	820	30.8	480	56.0	94.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	5,105,800 株	29年12月期	5,105,800 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	7 株	29年12月期	6 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	5,105,794 株	29年12月期3Q	5,105,794 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に、設備投資や雇用環境にも改善が見られ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済においては、米国の保護主義的な通商政策による米中経済戦争の影響や、米国での自然災害の影響が懸念されたものの、米国経済は堅調に推移いたしました。一方で中国および新興国経済の減速リスク等が高まったことにより、景気の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、大手企業を中心としたIT関連投資は引き続き高い水準にあり、クラウドサービスやIoT等の市場も拡大傾向で推移しております。

このような環境の中、当社グループは、「CREATE THE NEXT GENERATION」をテーマとした3か年中期経営計画をスタートいたしました。

従来からの主たる業務である受託開発業務の競争力強化を図りながら、プロダクト事業の展開と拡大へ向けた取組みを進めております。

売上高は、引き続き受注が好調に推移し、前年同四半期に比べ増加いたしました。利益面に関しましては、不採算プロジェクトの減少や、開発案件の生産性の向上、ニアショア、オフショアの活用成果等により、売上原価の低減に繋がり、連結営業利益、同経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高129億30百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益6億76百万円（前年同四半期比51.2%増）、経常利益6億87百万円（前年同四半期比53.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億9百万円（前年同四半期比111.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業では、車載系業務とメーカーからの受注を取り込み「組込み」が順調に推移し、「業務システム」、「フィールドサービス」は、IT投資を背景に企業向けのシステム開発業務やサーバ・ネットワーク構築業務が伸びております。また、クラウドサービスも堅調に推移しており、前年同四半期に比べ増加いたしました。一方、「携帯端末」は、スマートフォン開発業務や検証業務の減少をアプリ開発業務で補うべく取り組んでおります。「金融」については、IT技術者不足の解消には至らず、前年同四半期を下回りました。

プロダクト事業においては、前年同四半期を上回って推移しており、引き続き営業活動に鋭意注力し展開と拡大へ向けた取組みを進めております。

営業利益は、開発案件の生産性の向上、ニアショア、オフショアの活用により、前年同四半期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は104億45百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は5億40百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、出入管理、入退室管理システムおよび施工等、総じて順調に推移し、前年同四半期を上回りました。

次期主力製品の開発に伴い増加した研究開発費用等の影響等により、営業利益は前年同四半期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は24億84百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は1億23百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産は、98億円と前連結会計年度末より6億4百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金等の増加額が、受取手形及び売掛金、商品等の減少額を上回ったことによるものであります。

負債は、37億30百万円と前連結会計年度末より3億39百万円増加いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や未払法人税等、賞与引当金等の増加額が、未払金、その他等の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は、60億69百万円と前連結会計年度末より2億64百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は61.9%と1.2ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、計画通り推移しており、各利益につきましては、計画値を上回って推移しております。先行き不透明な要因も認められますが、今後の外部環境や業界の景況は引き続き良好であると予測しており、平成30年8月1日公表の通期連結業績修正を変更していません。今後、当社グループの状況により業績予想の修正の必要がみとめられた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,466	3,521,573
受取手形及び売掛金	3,378,831	3,277,819
前払費用	91,190	132,433
商品	415,267	353,839
仕掛品	223,917	232,397
貯蔵品	2,002	1,685
繰延税金資産	112,683	149,897
その他	65,511	40,174
貸倒引当金	△19,943	△25,585
流動資産合計	6,937,925	7,684,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	401,306	413,936
減価償却累計額及び減損損失累計額	△272,877	△275,416
建物及び構築物 (純額)	128,429	138,519
土地	605,084	605,084
その他	458,929	496,190
減価償却累計額及び減損損失累計額	△364,559	△396,486
その他 (純額)	94,369	99,704
有形固定資産合計	827,883	843,308
無形固定資産		
のれん	506,531	392,586
その他	212,949	180,528
無形固定資産合計	719,481	573,114
投資その他の資産		
投資有価証券	421,997	400,284
長期前払費用	5,632	6,315
差入保証金	159,329	166,864
会員権	11,600	11,600
繰延税金資産	67,499	65,502
その他	110,004	60,587
貸倒引当金	△65,478	△11,615
投資その他の資産合計	710,584	699,538
固定資産合計	2,257,949	2,115,961
資産合計	9,195,875	9,800,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,063,163	1,091,313
短期借入金	830,000	830,000
未払金	408,338	363,391
未払費用	58,987	101,390
未払法人税等	128,693	262,158
未払消費税等	165,498	157,886
賞与引当金	26,356	353,311
役員賞与引当金	—	9,283
受注損失引当金	6,239	252
その他	279,385	100,663
流動負債合計	2,966,664	3,269,650
固定負債		
退職給付に係る負債	172,997	186,292
役員退職慰労引当金	156,349	179,420
資産除去債務	53,950	58,221
繰延税金負債	34,623	33,289
その他	6,103	3,416
固定負債合計	424,024	460,640
負債合計	3,390,688	3,730,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	1,680,305	1,962,072
自己株式	△4	△6
株主資本合計	5,699,531	5,981,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,014	117,993
為替換算調整勘定	△30,358	△29,384
その他の包括利益累計額合計	105,655	88,609
純資産合計	5,805,187	6,069,905
負債純資産合計	9,195,875	9,800,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	12,280,236	12,930,069
売上原価	10,085,707	10,283,260
売上総利益	2,194,529	2,646,808
販売費及び一般管理費	1,747,002	1,970,238
営業利益	447,526	676,570
営業外収益		
受取利息	324	64
受取配当金	6,157	8,976
保険解約返戻金	1,237	2,654
その他	7,709	4,824
営業外収益合計	15,428	16,520
営業外費用		
支払利息	8,721	3,074
手形売却損	1,049	917
為替差損	—	1,244
その他	5,649	288
営業外費用合計	15,420	5,524
経常利益	447,534	687,566
特別損失		
役員退職慰労金	9,074	—
特別損失合計	9,074	—
税金等調整前四半期純利益	438,460	687,566
法人税、住民税及び事業税	200,508	306,760
法人税等調整額	44,279	△28,605
法人税等合計	244,788	278,154
四半期純利益	193,671	409,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,671	409,411

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	193,671	409,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,538	△18,020
為替換算調整勘定	△2,222	974
その他の包括利益合計	36,316	△17,046
四半期包括利益	229,988	392,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,988	392,365

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	9,946,687	2,333,548	—	12,280,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,773	—	△27,773	—
計	9,974,461	2,333,548	△27,773	12,280,236
セグメント利益	322,644	124,882	—	447,526

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

「セキュリティシステム」セグメントにおいて、株式会社アートの株式を取得したことにより、同社およびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間末において、404,719千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成30年1月1日 至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	10,445,699	2,484,369	—	12,930,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,376	3,723	△76,099	—
計	10,518,076	2,488,092	△76,099	12,930,069
セグメント利益	540,259	123,955	12,355	676,570

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。